

R1ORCA64

JIS 第3水準・JIS 第4水準対応 Ubuntu18.04 版

インストールマニュアル

2019/5/22

第9版

株式会社ムーブ

改訂履歴

第 1 版	平成 25 年 4 月 1 日	初版
第 2 版	平成 25 年 5 月 1 日	・改訂履歴、目次、III. 動作確認、および、ページ数を追記 ・login ユーザーが”orca”の場合の設定方法を追記
第 3 版	平成 25 年 10 月 20 日	P.6 「3) 試用版と製品版の違いについて」において、試用版の説明が不足していた為、追記。
第 4 版	平成 26 年 2 月 18 日	・ ページ数に誤りがあったので修正。 ・ 例示コマンドに空白()を挿入。
第 5 版	平成 26 年 4 月 10 日	P.10 にプログラムオプション項目「TIMEZONE」の説明を追加。 上記に伴うページ番号の振り直し。
第 6 版	平成 26 年 11 月 1 日	P.7 KEISYO にプログラムオプション項目”3”、”4”を追加。説明を加筆する。 以降ページ数の振り直し。 P.12 BIRTHDAY にプログラムオプション項目”3”、”4”の記述追加。ページを P.13 とする。 P.13 SEX にプログラムオプション項目”3”の記述を追加。ページを P.14 とする。 上記に伴う以降のページ番号の振り直し。 P.15 にプログラムオプション MOJISU を追加。 説明を加筆する。 P.18 トラブルシュートに「(3)AR100-SEND.bmp ファイルだけが無い場合」を追加。
第 7 版	平成 30 年 8 月 28 日	対応 OS 及び ORCA のバージョンを現行に合わせる。(Ubuntu16.04、ORCA5.0) Ubuntu のコマンドの説明は枠で囲むように修正。 P.20 に「IV. R1ORCA64 バージョンアップ手順」を追加。 P.22 に「V. アンインストール」を追加。 P.23 に「VI. FAQ」を追加。 誤字等の軽微な修正。
第 8 版	平成 31 年 3 月 14 日	対応 OS 及び ORCA のバージョンを現行に合わせる。(Ubuntu18.04、ORCA5.1)

第 9 版

令和元年 5 月 22 日

プログラムオプションの生年月日の設定に西暦追加。
FAQ の不要な項目を削除。

目次

P.4	I .はじめに
P.4	1)免責
P.5	2)R1ORCA64 概要
P.6	3)試用版と製品版の違いについて
P.7	II . インストール
P.7	1)サンプルプログラム、フォント、プリンタドライバのインストール
P.8	2)sudo の設定
P.9	3)日医標準レセプトの設定
P.17	4)印字位置の調整
P.18	III . 動作確認
P.20	IV . R1ORCA64 バージョンアップ手順
P.22	V . アンインストール
P.23	VI . FAQ

I. はじめに

R1ORCA64 は、カード発行機制御プログラム、実行 shell スクリプト、日医標準レセプトソフト (以下 ORCA) 用 COBOL プログラム、などを含むシステムであり、日医 ORCA PROJECT の Ubuntu 18.04 LTS Bionic Beaver 日医標準レセプトソフトインストール手順書 [HTML] (http://www.orca.med.or.jp/receipt/download/bionic/bionic_install_51.html) に従いインストールされた Ubuntu 18.04 上の ORCA Ver.5.1.0 稼働環境 (以下、日医標準環境) において、カード発行機 (AR100 または AR200) を使用して、カード上に JIS 第3水準・JIS 第4水準漢字の印字を実現するものです。

1) 免責

株式会社ムーブは、R1ORCA64 を提供するに当たり、以下の事項について、その責を負いません。

- a) 本マニュアルは、日医標準環境 において R1ORCA64 をインストールするための物であり、それ以外の環境に対してのインストール手順を解説するものではありません。
- b) 日医標準環境以外において R1ORCA64 の動作を保証しません。日医標準環境以外において R1ORCA64 を使用して生じた不具合・損害に対して、その責を負いません。
- c) カード発行機制御プログラム(r1orca64)の逆アセンブル等の解析行為は一切認めません。カード発行機制御プログラムの改変等による一切の不具合・損害に対し、その責を負いません。
- d) R1ORCA64 に同梱される R1ORCA64.CBL および、r1orca64-run.sh は、カード発行機制御プログラムの利用方法を含めたサンプルプログラムであり、カスタマイズ等の制限は一切ありません。自由にカスタマイズが可能ですが、株式会社ムーブが承知しない一切のカスタマイズに対して、当該カスタマイズに起因した一切の不具合・損害に対し、その責を負いません。
- e) R1ORCA64 の動作は2019年5月1日時点での日医標準環境において保証するものであり、今後の OS の機能追加や ORCA のバージョンアップ等による、動作環境の変更に対して恒久的に保証するものではありません。また、動作環境の変更に起因する不具合・損害が生じた場合、その責を負いません。

2)R1ORCA64 概要

【ソフト名】

AR100 用 バーコード印刷機能付き診察券発行システム

【動作環境】

- 1)OS が Ubuntu16.04 64bit または Ubuntu 18.04 64bit 版であること。
- 2) 日医標準レセプトソフト ver.5.0.0 または ver5.1.0 が動作すること。
- 3)monpe ver.0.6.20 以上がインストール済みであること。

【仕様】

■機能概要

診察券発行システムとしての R1ORCA64 は、日医標準レセプトソフトのユーザープログラム”R1ORCA64.CBL”と、AR100 制御プログラム rlorca64、rlorca64-run.sh から構成されます。

●COBOL 部

- ・稼働条件 : 日医標準レセプトソフト Ver.5.0.0 以降
- ・印字可能漢字 : JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準、JIS 第 3 水準、JIS 第 4 水準
* 日医標準レセプトソフトの環境による。

(詳細機能)

- ・カード方向指定 : プログラムオプションにて”縦”、”横”の設定可能。
- ・バーコード印字機能 : CODE39 により実装。
但し、判読にはある程度のフォントサイズが必要。
使用の可否はプログラムオプションにて設定可能。
- ・予約情報印字機能 : 使用の可否はプログラムオプションにて設定可能。
- ・半角カタカナ印字機能 : 読み仮名部分の印字は、全角カタカナ、または、
半角カタカナの何れかを印字することができる。
全角半角の切り替えはプログラムオプションにて設定可能。
- ・敬称印字機能 : 敬称を5パターンから選ぶことが可能、
パターンの切り替えはプログラムオプションにて設定可能。
- ・生年月日印字機能 : 生年月日の印字書式を5パターンから選ぶことが可能、
パターンの切り替えはプログラムオプションにて設定可能。
- ・性別印字機能 : 性別の印字書式を4パターンから選ぶことが可能、
パターンの切り替えはプログラムオプションにて設定可能。

- 制御部

- ・稼働条件 : Ubuntu16.04 64bit、Ubuntu18.04 64bit

- ・一般的なデザインで 1 枚 20 秒程度で通信が終了します。
実際の処理時間はサーバの処理速度の影響を受けます。

- ・磁気データ内における、JIS 第 3 水準、JIS 第 4 水準の取り扱いはしません。
漢字氏名に、JIS 第 3 水準、JIS 第 4 水準が使用されていた場合、
磁気データの漢字氏名エリアにはカナ氏名 (全角カタカナ) がエンコードします。

- その他

- ・印字面レイアウトは、ORCA 標準の帳票開発ツール”monpe”で調整します。
- ・留意点として、複数の ORCA クライアントからの同時印刷にも対応していますが、
1 秒以内に 3 台以上の ORCA クライアントから、印刷指示が発せられた場合、
券面の印字内容と磁気エンコード内容が異なる結果になる場合があります。

3)試用版と製品版の違いについて

試用版と製品版は印刷解像度と、磁気エンコードの内容が異なります。

印字解像度は、下図を参照してください。

磁気エンコードは、カナ氏名の名前部分が一文字欠けた状態となります。

(例)オオサコ ジョウタロウ → オオサコ ヲウタロウ

その他、機能について差異はありません。

印字位置合わせ等の設定は全て試用版で行えます。

< 試用版 >

< 製品版 >



II. インストール

※文中の青文字は、環境によって異なるので、読み替えていただく内容となっています。
※実際にコマンドを入力するのは「\$」の後からになります。「\$」を入力する必要はありません。

1. サンプルプログラム、フォント、プリンタドライバのインストール

- a) **R1ORCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz** を任意のフォルダに解凍し、root 権限でインストールスクリプトを実行します。
ここでは、**orcauser** のホームディレクトリで作業することとします。

```
$ tar xvzf R1ORCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz
$ cd R1ORCA64
$ sudo bash orca_print_install.sh
```

*注意

login ユーザーが”orca”の場合(# ls /home の結果でユーザーのホームディレクトリが orca のみの場合)は、R1ORCA64 が正常に稼働しません。
その場合は、先に別ディレクトリ(下記例では move)を作成し、その中へ解凍してください。

```
$ mkdir move
$ cd move
$ tar xvzf R1ORCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz
$ cd R1ORCA64
$ sudo bash orca_print_install.sh
```

- *1. 必要に応じてパッケージ imagemagick および cups-pdf のインストールが行われます。
- *2. 必要に応じて CUPS 上に AR100 (PDF 仮想プリンタ)を作成し、**停止状態**にします。
- *3. サンプル PG”R1ORCA64.CBL”のインストールを行います。

(cups 資料)



- b) サンプル PG”R1ORCA64.CBL”のプログラムオプションを登録します。

```
$ cd prgoption ←R1ORCA64 フォルダ内にあります
$ sudo bash prgoption.sh 1
```

*グループ診療の設定がある場合は、"1"を対象の医療機関の番号としてください。

- c) バーコードフォントのインストール。(バーコードを使用する場合のみ)

```
$ cd data ←R1ORCA64 フォルダ内にあります
$ sudo tar xvzf technical_CODE39.tgz
$ cd technical_CODE39
$ sudo bash CODE39-install.sh
```

2. sudo の設定

- a) visudo で sudoers を編集し orca ユーザーに sudo の権限を与えます。

※sudo -i で root ユーザーになります。

```
$ sudo -i
[sudo] password for oruser: oruser のパスワード
# visudo
```

- b) 赤字の内容を追加し書き換えます。書き換えが終わったら、^X([Ctrl]+[x])で保存します。

```
# User privilege specification
root    ALL=(ALL:ALL) ALL
# Members of the admin group may gain root privileges
```

↓

```
# User privilege specification
root    ALL=(ALL:ALL) ALL
orca    ALL=(ALL) NOPASSWD:ALL
# Members of the admin group may gain root privileges
```

【 注意 】

login ユーザーが”orca”の場合(# ls /home の結果でユーザーのホームディレクトリが orca のみの場合)は、以下の部分の修正が必要です。

```
# Allow member of group sudo to execute any command
%sudo ALL=(ALL:ALL) ALL
```

↓

```
# Allow member of group sudo to execute any command
# %sudo ALL=(ALL:ALL) ALL
```

※ 権限設定を誤ると、最悪の場合 root になれなくなります。ご注意ください。

3. 日医標準レセプトソフトの設定

a) ユーザープログラムをユーザープログラム起動情報に登録します。

01 医事業務 → 91 マスター登録 → 101 システム管理マスタ と進み、
管理コード 9700 ユーザープログラム起動情報 を表示します。
患者登録(P02) を選び、エンターキーで指示画面初期表示を表示し、以下の内容を登録
します。

処理名・帳票名	任意 (Ex.診察券発行)
実行スクリプト	allways/r1orca64.sh
プリンター名	AR100
リスト	1画面表示
ボタン	チェック(実行する)

b) プログラムオプションの設定

01 医事業務 → 91 マスター登録 → 101 システム管理マスタ と進み、
管理コード 1910 プログラムオプション情報 を表示します。
R1ORCA64 を選択しプログラムオプションを設定します。

1) REWRITE (初期値:"0")

カード種類を指定します。

追記式(ワンライト)の場合は"0"、書換式(リライト)の場合は"1"を指定します。

2) ORIENTATE (初期値:"1")

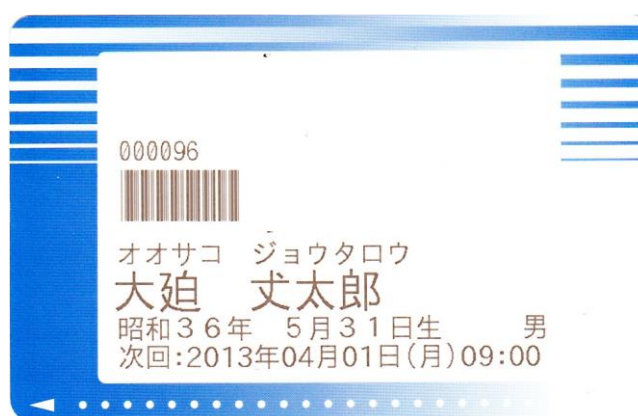
印刷の向きを指定します。

カードを縦に使う(縦書き)場合は"0"、横に使う(横書き)場合は"1"を指定します。

(縦書きの例)



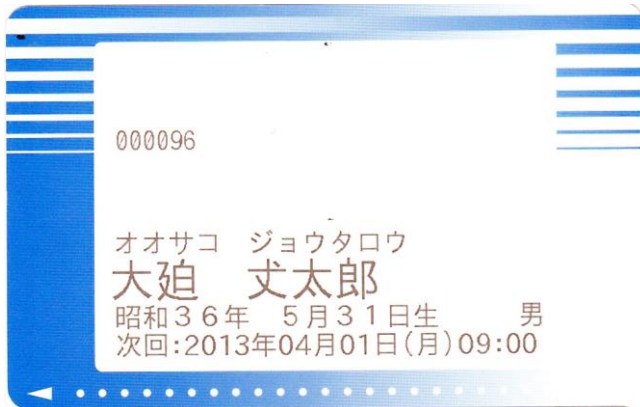
(横書きの例)



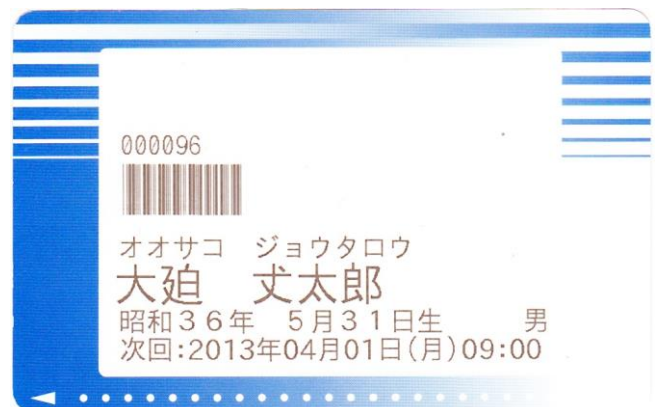
3) BARCODE (初期値:”0”)

バーコードの使用の可否を決めます。バーコードは CODE39 を使用しています。
バーコードを使用しない場合は”0”、使用する場合は”1”とします。

(未使用)



(使用)



※バーコードを使用する場合は、前述の「Ⅱ. -1. -c) バーコードフォントのインストール」に従い、バーコードフォントをインストールしておいてください。

4) CHECKDIGIT (初期値:”0”)

バーコード使用時のみ有効です。作成されたバーコードに誤読取防止用のチェックデジットが付加されます。

チェックデジットを使用しない場合は”0”、使用する場合は”1”とします。

※チェックデジットの変更は、バーコードスキャナや読取り側システムの設定変更が必要となる場合があります。

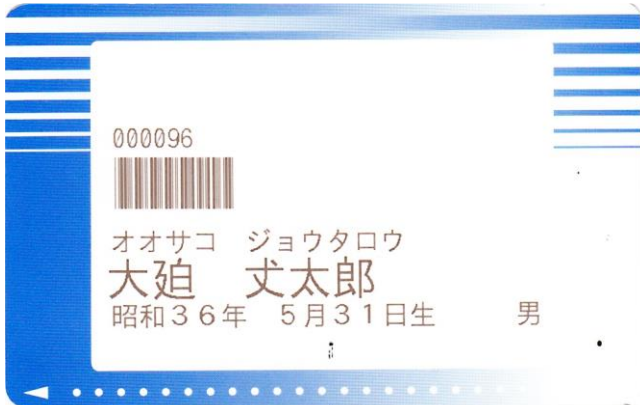
読み取り側システム担当者と十分な打ち合わせをお願いいたします。

5) YOYAKU (初期値:”0”)

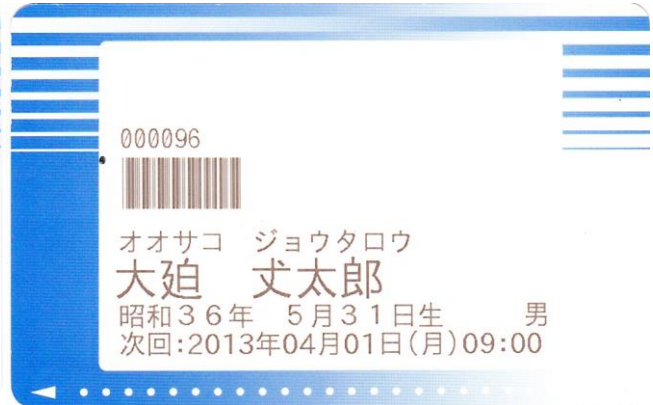
予約情報の印字の有無を指定します。

予約情報を印字しない場合”0”、印字する場合は”1”とします。

(未使用)



(使用)



6) TIMEZONE (初期値:"0")

予約情報の印字を有り(YOYAKU=1)の場合のみ有効となります。

TIMEZONE=0 : 分単位の予約時間(10:05、10:27)※ 初期値

TIMEZONE=1 : 時間帯単位の予約時間(10:00、11:00)

7) KEISYO (初期値:"2")

敬称の有無を指定します。

KEISYO=0 : 「さま」(印字位置固定)

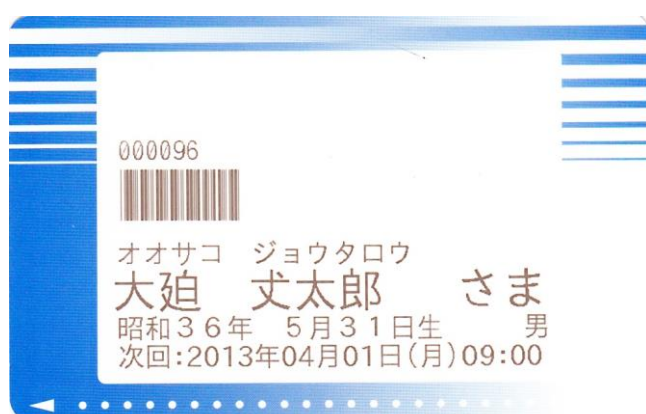
KEISYO=1 : 「様」(印字位置固定)

KEISYO=2 : 「無し」

KEISYO=3 : 「さま」(印字位置追従)

KEISYO=4 : 「様」(印字位置追従)

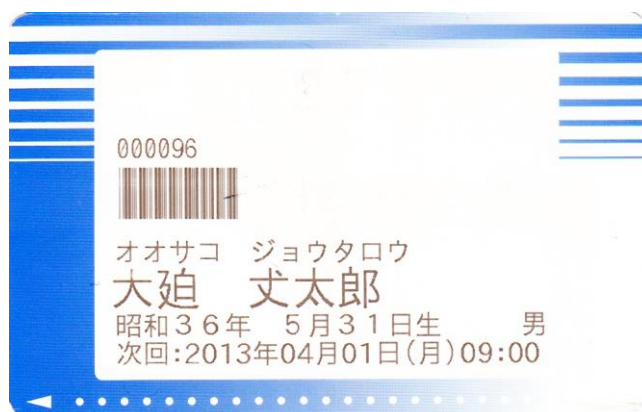
("0"の場合)



("1"の場合)



("2"の場合)



8) FURIGANA (初期値: "1")

フリガナを半角で印字するか、全角で印字するかを指示します。

FURIGANA=0 : 半角

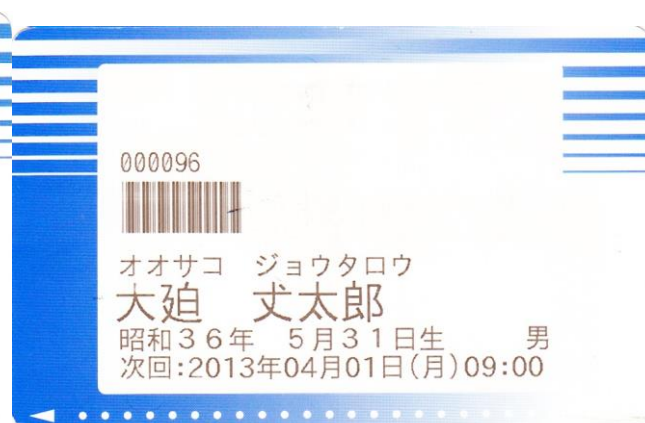
FURIGANA=1 : 全角

縦書きなど横幅に余裕のない場合に対応できます。

(半角印字例)



(全角印字例)



9) BIRTHDAY (初期値: "0")

生年月日の印字書式を指定します。

BIRTHDAY=0 : 「平成24年 8月31日生」と印字します。

BIRTHDAY=1 : 「H24. 8.31」と印字します。(全て半角)

BIRTHDAY=2 : 「H24/08/31」と印字します。(全て半角)

BIRTHDAY=3 : 「平成 24/08/31」と印字します。(元号全角、日付半角)

BIRTHDAY=4 : 「平成24年 8月31日」と印字します。(全て全角)

BIRTHDAY=5 : 「2012 年 08 月 31 日」と印字します。

BIRTHDAY=6 : 「2012.08.31」と印字します。(全て半角)

BIRTHDAY=7 : 「2012/08/31」と印字します。(全て半角)

(印字例 抜粋)

("0"の場合)

("1"の場合)

("2"の場合)

10)SEX(初期値:0)

性別の印字書式を指定します。

SEX=0 : 男性を「男」、女性を「女」と印字します。

SEX=1 : 男性を「M」、女性を「F」と印字します。

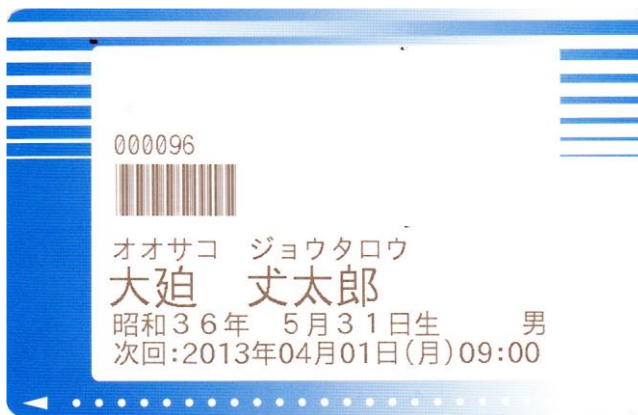
SEX=2 : 男性を「1」、女性を「2」と印字します。

SEX=3 : 男性を「男性」、女性を「女性」と印字します。(注)

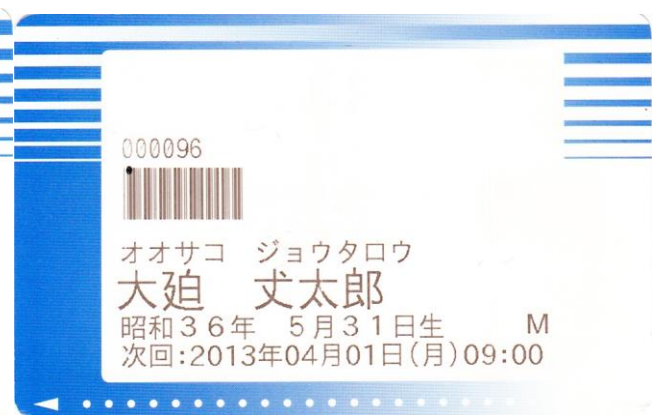
(注)縦書書式(ORIENTATE=0)を選んだ場合で、かつ、生年月日の表示書式を「平成24年 8月31日生」(BIRTHDAY=0)を選んだ場合は、初期提供のデザインでは性別が生年月日と重なってしまいます。

生年月日の表示書式を”0”以外とするか、monpe を使用してレイアウトを変更する等の処置を行ってください。

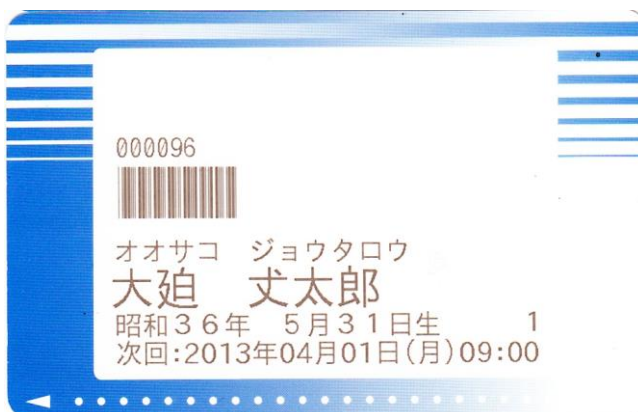
(”0”の場合)



(”1”の場合)



(”2”の場合)



11)IP-ADDRESS

AR100 IPアドレス

(Ex.)192.168.0.2

12)PORT

AR100 ポート番号

(Ex.)9100(デフォルト)

※特に指示等がない場合、変更しないでください。
通信ができなくなります。

13)FILENAME

BMP ファイル名

(Ex.)/home/orca/R1ORCA64/AR100-SEND.bmp(デフォルト)

※フルパスで記述。

複数の診察券発行機に書き分けるなどの、特殊なシステム環境以外では、
原則変更しないでください。

14)MOJISU(初期値:9)

漢字氏名最大印字文字数

(Ex.)9(デフォルト)

※横書きサンプルレイアウトに最適な値が 9 文字。

※9 以上 18 以下で設定する。18 以上の値が与えられても 18 とみなします。

※10 以上の値を設定する場合、monpe でのレイアウトやフォントサイズの変更が必須。

※最大印字文字数と敬称の関係は以下ようになります。

KEISYO="0"(印字位置固定)

「さま」と印字するため、指定値より 2 文字少なくなります。9→7、12→10
氏名が 7 文字の場合、「ムーブ△一太郎さま」のようになります。

KEISYO="1"(印字位置固定)

「△様」と印字するため、指定値より 2 文字少なくなります。9→7、12→10
氏名が 7 文字の場合、「ムーブ△一太郎△様」のようになります。

KEISYO="2"

敬称が無い場合、指定した文字数をそのまま印字します。

KEISYO="3"(印字位置追従)

敬称を氏名の一部として、漢字氏名の直後に「△さま」と印字するため、指定値より 3 文字少なくなります。9→6、12→9。

そのため、MOJISU が 9 であっても「ムーブ△一太郎△さ」とはならず、
「ムーブ△一太△さま」となります。

KEISYO="4"(印字位置追従)

敬称を氏名の一部として、漢字氏名の直後に「△様」と印字するため、指定値より 2 文字少なくなります。9→7、12→10。

例えば MOJISU が 9 ならば、7 文字までは「ムーブ△一太郎△様」と印字できます。

*MOJISU に 10 以上を設定する場合、KEISYO が”0”または”1”を選ぶと、敬称を印字するフィールドが、漢字氏名の印字フィールドと別のため、レイアウトの変更が煩雑になるのでお奨めしません。

10 以上を設定する場合で、かつ、敬称が必要な場合は、KEISYO の”3”、”4”の使用をお奨めします。

4. 印字位置の調整

monpe を実行し、編集します。
作業は、login ユーザーで行います。

```
$ cd R1ORCA64/form
```

- ・ 縦書きの場合

```
$ monpe R1ORCA64PORTRAIT.red
```

- ・ 横書きの場合

```
$ monpe R1ORCA64LANDSCAPE.red
```

monpe の使用方法につきましては、
ORCA プロジェクトの技術情報 (<http://www.orca.med.or.jp/receipt/tec/>) のソフトウェアの
2. ツールの日レセの XML 帳票開発・印刷ツールに有る、
「MONPE-0.6.20 取扱説明書 第一版 [PDF]」
(<http://ftp.orca.med.or.jp/pub/data/receipt/tec/monpe-manual-0.6.20-1.pdf>) を参照してく
ださい。

III. 動作確認

- 1) [12 登録]を開き任意の患者を呼び出します。
- 2) [F12 登録]を押下(またはクリック)し、患者を登録します。
- 3) 「(XD01)ユーザープログラム起動」画面が開いたら、処理・帳票名から「診察券発行 (R1ORCA64)」を選択し[F8]で追加し、[実行]を押下します。
- 4) 正しく設定されていれば、診察券が発行されます。

◆トラブルシューティング

1 分以上経過しても診察券が発行されない場合、設定が誤っている可能性があります。
以下の手順で確認してください。

1) R1ORCA64.CBL の起動確認

```
$ ls /home/orca/r1orca64.log ← r1orca64.log の存在を確認します
/home/orca/r1orca64.log
```

*log ファイルが存在しない場合、ユーザープログラム起動情報が誤っている可能性があります。

P.9 3.-a)の内容を再確認してください。

2) ディレクトリ R1ORCA64 の存在確認

```
$ ls -la /home/orca/ ← R1ORCA64 の存在と権限等を確認します。
drwxrwxrwx 2 orca orca 4096 ○月 dd hh:mm R1ORCA64
```

*R1ORCA64 が上記のような表記となっていれば OK です。

別のユーザーや別の権限となっていた場合、正規の方法以外で作成された可能性があります。

P.7 II. -1. -a) 注意を参考に確認してください。

3) ディレクトリ R1ORCA64 の内容確認

```
$ ls -la /home/orca/R1ORCA64/
-rwxrwxrwx 1 orca orca 273686 ○月 dd hh:mm AR100-FULL.bmp
-rwxrwxrwx 1 orca orca 273686 ○月 dd hh:mm AR100-SEND.bmp
-rwxrwxrwx 1 orca orca 273686 ○月 dd hh:mm AR100.ps
-rw----- 1 orca orca 273686 ○月 dd hh:mm card-yyyy-mm-sjis.log
                                     (Ex. card-201304-sjis.log)
-rw----- 1 orca orca 273686 ○月 dd hh:mm card-yyyy-mm.log
```

*上記 5 ファイルの存在を確認してください。

(1) card-yyyy-mm.log がいない場合

/usr/local/bin/r1orca64.sh が正しくインストールされていない可能性があります。

P.7 II. -1. -a) に従い再インストールしてください。

(2)AR100 で始まるファイルがない場合

```
$ vi /home/orca/R1ORCA64/card-yyyyymm.log ←card-yyyyymm.log の確認。

R1ORCA64 Start Tue Apr 23 09:11:09 JST 2013
JOB Number:10 JOB Number Length:2
2. PSFile Name Left Part:d00010
JOB ID:AR100-10 JOB Number:10 PS File Name:
bmp File nothing ←この場合表示されていない。
waiting bmp created
(以下繰り返し)
```

*log ファイルの内容が上記のような場合、sudo 権限が正しく設定されていない可能性があります。

P.8 2.-b) を参考に sudo 権限を見直してください。

(3)AR100-SEND.bmp ファイルだけが無い場合

AR100.ps と AR100-FULL.bmp が存在し、AR100-SEND.bmp が存在しない、または、AR100-SEND.bmp の作成中 TMP ファイルのようなものが存在する場合、上記 (2)と同様に、log を確認してください。

上記 (2)と同様に、“**waiting bmp created**”が表示されていれば、monpe でレイアウト変更を行った場合に、正しく修正されていないケースで発生する障害です。

以下の方法で確認します。

- ①デスクトップのランチャー上のホームフォルダーを開き、GUI を使用して、/home/orca/R1ORCA64/を開きます。
- ②AR100.ps をダブルクリックします。
- ③ダイアログが開き”AR100.ps を実行しますか？それとも内容を表示しますか？”と聞かれますので[表示する(D)]ボタンをクリックします。
- ④PSファイルのページ数が 2 ページ以上になっていませんか？
2 ページ以上ある場合は、red ファイルを再修正し 1 ページ内に収まるよう変更してください。

4) 再テスト

再テストは、必ず、同梱の allreset-R1ORCA64.sh を実行してから行ってください。

```
$ cd /home/oruser/R1ORCA64/ ← R1ORCA64 解凍場所へ移動。
$ sudo bash allreset-R1ORCA64.sh
```

IV. R1ORCA64 バージョンアップ手順

1) 概要

R1ORCA64 がバージョンアップされた際の移行について説明します。
レイアウトを編集されている場合、バージョンアップを行うと初期レイアウトに上書きしてしまうのでご一読ください。

この手順は、ORCA のバージョンアップ時に R1ORCA64 を移行するときにも有効です。

なお、PC を新しくした環境で行う場合、新規インストールと同様の手順でお願いします。

2) 用意するもの

最新の R1ORCA64 のプログラムをご用意ください。

「R1ORCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz」

※2019 年 5 月 1 日時点

3) 移行手順

- ・本書では、/home/oruser/ で作業しているとします。
- ・各コマンドの実行で「許可されていません」等のエラーが出た場合、管理者権限を持つユーザで実行をお願いします。(root ユーザになる。コマンドの頭に sudo を付ける等)
- ・お手持ちのプログラムバージョンと異なる場合、バージョンの部分を読み替えてください。

① 現在使用中のレイアウトファイル(red ファイル)をバックアップします。

```
$ cp R1ORCA64/form/R1ORCA64LANDSCAPE.red ./ ← 横書きレイアウトの場合
$ ls ← ls で確認します。この場合上記 red が表示されれば OK)
R1ORCA64
R1ORCA64-ver500pr2-xenial
R1ORCA64-ver500pr2-xenial.tgz
R1ORCA64-ver500r7-xenial-for510.tgz
R1ORCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz
R1ORCA64LANDSCAPE.red ← バックアップされた red ファイルを確認
```

② /home/oruser/に最新のプログラムを配置します。

WindowsPC から ORCA サーバ(Ubuntu)にコピーする場合、USB メモリや FTP 経由などで配置してください。

③ 以前の古い R1ORCA64 を削除します。

```
$ rm -r R1ORCA64
```

- ④ 最新のプログラムの **tgz** を解凍します。

```
$ tar xvfz R10RCA64-ver500r8-bionic-for510.tgz
```

- ⑤ バックアップした **red** ファイルを戻します。

```
$ cp R10RCA64LANDSCAPE.red R10RCA64/form/
```

- ⑥ プログラムの再インストールを行います。

```
$ cd R10RCA64  
$ sudo bash orca_print_install.sh
```

※プログラムオプションの再インストールは不要です。(以前の環境を継承します)

- ⑦ 製品版の再インストールを行います。

```
$ cd ../  
$ cd R10RCA64-ver500pr2-xenial  
  ※上記のバージョンをお持ちでない場合、弊社までご連絡ください。  
$ sudo bash install.sh
```

- ⑧ 以上でバージョンアップは終了です。
テスト印字を行い、確認してください。

V. アンインストール

R1ORCA64 の「doc」フォルダ内にあるアンインストールスクリプトを実行してください。

```
$ cd R1ORCA64/doc  
$ sudo bash orca_print_uninstall_R1ORCA64.sh
```

アンインストール時は R1ORCA64 のプログラムが、ORCA のインストール場所から全て削除されます。

VI. FAQ

Q. カードにユーザ独自のコメントを印字することは可能ですか？

A. はい、可能です。monpe を使用して文字項目を追加することで実現できます。

Q. レイアウトを monpe で変更しました。再インストールが必要でしょうか？

A. はい。再インストールを行わないと変更したレイアウトが反映されません。

Q. 複数のクライアントから同時に発行した場合、どのような動作をしますか？

A. 先に実行したクライアントから順番に処理します。このとき、後に実行されたクライアントは先に実行された処理が終わるまで待機しています。最初の処理が終了後、次の処理が実行される仕様です。

Q. AR100 を複数で運用したいですが、対応できますか？

A. ORCA サーバにインストールできる R1ORCA64 は 1 台までとなっております。

Q. バーコードが上手く読み取れません

A. バーコードリーダによって読み取りの精度が異なります。
ご使用のリーダで読み取れない場合、バーコードのサイズを大きくしてみてください。
参考値として、現在のサイズは「25.07」となっております(当社検証済み)

Q. バーコードの規格は何でしょうか

A. CODE39 です。それ以外の規格には対応しておりません。

Q. 磁気無しカードに対応していますか？

A. 磁気なしカードには印刷できません。印刷するとエラーとなります。

Q. 文字の縦倍角、横倍角はできますか？

A. 倍角文字は対応していません。

Q. 「allreset-R1ORCA64.sh」を実行したら、下記のようなエラーが出ました
r1orca64-run.sh: no process found
rm: '/tmp/card.lock' を削除できません: そのようなファイルやディレクトリはありません

A. キャンセルするべきプロセスが存在しないことによるエラーですので、問題ありません。

その他お問い合わせにつきましては、当社サポート窓口までご連絡をお願いします。

●株式会社ムーブ:技術問い合わせ

<http://www.move-p.jp/support/g-entry.html>